【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公開番号】特開2005-288858(P2005-288858A)
【公開日】平成17年10月20日(2005.10.20)
【年通号数】公開・登録公報2005-041
【出願番号】特願2004-106714(P2004-106714)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　3/36　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　32/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/36　Ｔ
Ｂ４１Ｊ　32/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月6日(2006.11.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
印字装置に着脱可能に装着されるテープカセットであって、インクリボンと、長尺の台紙上の長さ方向に沿って台紙の幅内に所定形状の複数のラベルが配置されてなるテープ部材とがカセットケースの内部に収納され、このカセットケースの外方に前記インクリボン及び前記テープ部材が繰り出されて前記印字装置の印字機構に供給され、その印字機構により前記インクリボンを介して前記各ラベルに印字が行なわれるテープカセットにおいて、
前記インクリボンの幅寸法を、前記台紙の幅寸法より小さく、かつ前記ラベルの幅内に設定される有効印字領域の幅寸法と同等以上としたことを特徴とするテープカセット。
【請求項２】
前記複数のラベルは、前記台紙上に剥離可能に貼着された粘着剤付の印字用テープが所定形状に切断されることにより形成されていることを特徴する請求項１に記載のテープカセット。
【請求項３】
前記複数のラベルは、所定の外形形状に形成されて前記台紙上に剥離可能に貼着された粘着剤付のラベル片によって構成されていることを特徴する請求項１に記載のテープカセット。
【請求項４】
前記複数のラベルは、その中心位置が前記台紙の幅方向の中心に配置されており、前記カセットケースには、前記テープ部材と前記インクリボンとの各長手方向の中心線を合わせて前記印字装置の印字機構に繰り出す案内部を備えていることを特徴とする請求項１に記載のテープカセット。
【請求項５】
前記印字装置の印字機構により印字に使用された前記インクリボンを前記ケース内に回収するためのリボン戻し口を備え、このリボン戻し口の幅寸法を、前記インクリボンの幅寸法と同等以上で、かつ前記テープ部材の幅寸法より小さくしたことを特徴とする請求項１ないし４のいずれかに記載のテープカセット。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項１の発明は、印字装置に着脱可能に装着されるテープカセットであって、インクリボンと、長尺の台紙上の長さ方向に沿って台紙の幅内に所定形状の複数のラベルが配置されてなるテープ部材とがカセットケースの内部に収納され、このカセットケースの外方に前記インクリボン及び前記テープ部材が繰り出されて前記印字装置の印字機構に供給され、その印字機構により前記インクリボンを介して前記各ラベルに印字が行なわれるテープカセットにおいて、前記インクリボンの幅寸法を、前記台紙の幅寸法より小さく、かつ前記ラベルの幅内に設定される有効印字領域の幅寸法と同等以上としたことを特徴としている。